

「日本橋川周辺のにぎわい創出に向けた基本方針（取組方針Ver.1）（案）」に対する

パブリックコメントの意見・要望と都の考え方

<パブリックコメントの概要>

【募集期間】令和 7 年 4 月 25 日（金）から令和 7 年 5 月 25 日（日）までの 31 日間

【意見総数】 23 通（131 件）

- ・ 1 通の中に、複数のご意見と考えられる記載については、複数に分割し記載しています。
- ・ 重複する意見については、同様の意見として、集約のうえ回答しています。

| 意見・要望  | 都の考え方   |
|--|---|
| 現状と課題【15件】※同様の意見として回答含む  |   |
| <p>神田祭の記載がありますが、山王祭の場合のことも記載してみてもはどうでしょうか。具体的には、「下町連合渡御においては10数基の神輿が日本橋上で差し上げ等を実施しており、参加者・観客等で大変な盛り上がりとなりますが、橋詰空間や水辺空間で滞留・賑わい創出できる空間がない。」</p>  | <p>ご意見も参考に、江戸からの歴史資源・文化をいかしたまちづくりに官民連携して取り組んでまいります。</p> |
| <p>外濠に荒川河川水を引く計画は大掛かりすぎる。<br/>金のかかる計画は、治水上のメリットが必要である。玉川上水を浚渫して、多摩川のバイパスとして機能するようにすることが必要だと思う。<br/>多摩川は東日本台風で、日野橋が洗掘被害で架け替えになり、野川との合流地点でバックウォーター現象が起きているが、荒川よりも流域の人口密度と地価が高く、抜本的な対策が難しい。玉川上水の活用は数少ない切り札であろう。<br/>他には外濠にボラやハクレンを放って釣り堀や水産物にするとか、水草で遮光するとか、安上がりな対策で済ませべきである。気候変動に対処するには、懐かしい風景に固執しすぎるのは割に合わない。新しい風景に慣れる必要がある。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                            |
| <p>14・16ページの歩行者と水辺が近い街づくりについて課題点やどういう整備を行っていくか述べている箇所をみていて、計画が実行されて出来上がるのが楽しみになりました。<br/>日本橋の方が先行で整備されると思いますが、神田川方面もある程度は整備してもらえるといいのになと思います。若干治安の悪い秋葉原が、電気街としての賑わいとこれからのロボット・機械産業の出発点になるといいのになと思っています（サブカルと個人から生まれる流行）。秋葉原は、個人的に駅から高架にかけて向こう側にすごく渡りにくい（書泉ブックセンターあたり）し、地下鉄（日比谷線の秋葉原のホーム）は悪臭がするので、この2点をなんとかして欲しいなと思っています。<br/>そして、高輪ゲートウェイがこれからのITとロボットを担う近未来的な街（人と機械をつなぐ100年後に向けたまち）になって欲しいです。</p> | <p>ご意見も参考に、日本橋川を中心とした新たな水の都の創造に官民連携して取り組んでまいります。</p>    |
| <p>資料を楽しく読ませていただきました。ぜひ実現させて東京都が考える新たな町を見てみたいです。<br/>資料15ページの船着場の場所がわかりにくいというのは私も感じました。まずは看板を立ててわかりやすくするところから始めて欲しいです。運行情報や待つ間の雨風を防ぐ場所がないという点も同意見です。船も屋根付きにできるなら屋根付きや屋台船などにするなどの工夫が欲しいです。もう少しはとバスのように開けた感じにして観光者寄りにするか、もしくは通勤者向けにしっかり屋台船のように囲って雨風を凌げるようにして欲しいです。<br/>日本橋の方は再開発ですぐ近くにビルがたつ予定のようなので、そこに船の待合場を追加で設けて、室内で運行情報など確認して出て来れるようにすると便利なのになと思いました。いい天気なら外で待てばいい話だし。</p>                       | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>                  |

|  |   |
|--|---|
| <p>東京都心は地球上で最も高度に富と人口が集積する場所の1つである。頻発する豪雨や高潮に対して、万全の備えが求められる。</p> <p>しかし、日本橋川はそもそも治水計画が決まっていない。にもかかわらず、にぎわい創出を先に決めて、治水に制約を課すのは、将来に禍根を残す無責任な態度と言わねばならない。</p>  | <p>日本橋川を含む神田川流域では、「神田川流域河川整備計画（令和5年3月）」に基づき、河道拡幅や調節池等の整備による洪水対策や、防潮堤等の整備による高潮対策など、治水対策を進めるとともに、河川周辺の街並みや緑地等と一体となった河川景観・親水空間の保全・創出に努めることとしています。</p> <p>また、気候変動に伴う風水害リスクの増大に対しては、将来を見据えた都の河川施設整備の方針として、「気候変動を踏まえた河川施設のあり方（令和5年12月）」を策定し、さらには高潮対策について「河川における高潮対策整備方針（令和7年3月）」を策定し、河川における水害対策を推進していくこととしています。</p> <p>日本橋川のにぎわい創出に向けては、治水計画とも整合を図りながら、検討を進めてまいります。</p> |
| <p>P22の産業と地域連携の括りに繋がっていますが、産業としてのにぎわいを創出するための取組とは具体的にどのようなイメージでしょうか。</p>   | <p>P47、48、49のとおり、「うみだす」（官民連携により新しいコトを創出）の内容を想定しております。</p>   |
| <p>21・22ページのページも大変興味深く拝見させていただきました。東京駅には実証実験として水素で動くバスや、車にエネルギーを供給するステーションもあります。船は水素で動かないのでしょうか？試してみたいです。</p> <p>東京メトロ銀座線・半蔵門線三越前駅のあたりも画像として計画案に見られない（地図のみ）ものが入っているのですね。ニュースを調べて驚きました。出来上がるのが楽しみです。</p>  | <p>川の水面や水辺空間を次世代技術等の実証実験の場として活用するなど、官民連携のもと、水辺のにぎわいを創出するための取組みについて検討してまいります。</p>  |
| <p>令和7年3月河川部策定「河川における高潮対策整備方針」では、2080年高潮対策として、日本橋川については嵩上げ0.6mの記載があります。今回の基本方針のターゲットイヤーが2040年頃と考えると、2080年を前提に記載するのは時間軸が大きく違う気がします。どうでしょうか。</p> <p>「現状と課題」について、同様のご意見 1件</p>  | <p>令和7年3月に策定した「河川における高潮対策整備方針」において、日本橋川では将来の気候変動による海面上昇等を踏まえた高潮対策として、水門を整備し、まちと一体的な治水対策を実施することとしています。</p> <p>日本橋川のにぎわい創出に向けては、治水計画とも整合を図りながら、検討を進めてまいります。</p>   |
| <p>2025年4月1日付で「一般社団法人日本橋リバーウォークエリアマネジメント」が設立されており、下記のとおり追記をお願いしたい。</p>   | <p>P21の図日本橋川周辺のエリアマネジメント団体・地域団体等の活動状況の例に追記いたします。</p>  |
| <p>大手町から茅場町まで永代通りは金融軸の位置づけのため、八重洲・日本橋の冒頭の箇所に金融の追記。また、フードテックやディープテックなどのスタートアップ集積が進んでいることを追記いただきたい。</p>  | <p>P20の図日本橋川周辺の産業の八重洲・日本橋に金融を追記いたします。</p>   |
| <p>凡例にある街並み重点地区の図上（特に日本橋北側）での記載が分かりにくい（南側は重点地区とガイドライン網掛エリアがイコールなので、これで良いです）。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>「ルール」の位置づけ・内容等が示されておらず、どのようにお考えでしょうか。ゾーン3では、長きに亘る地域・地権者等多くの関係者の合意形成積み上げのもと、中央区策定「日本橋川沿いエリアの街づくりビジョン」や東京のしゃれた街並みづくり推進条例第27条第2項の規定に基づき知事承認を得た「日本橋川沿い地区街並み景観ガイドライン」「日本橋室町・日本橋本石町・日本橋本町街並み景観ガイドライン」が既に定められています。それらに基づいて、先行する再開発5地区は事業推進中です。先述したビジョンやガイドラインを補完する位置づけとし、上乘せする規制とならないようお願いしたい。また、既に行政協議を終えている事項についても事業スケジュール上、手戻りが発生することは難しいことをご理解いただきたい。</p> <p>「ゾーン別の主な取組」について、同様のご意見 2件</p> | <p>ルールづくりを含む実施方針の検討に当たっては、引き続き既存の計画等にも考慮しながら、学識委員の意見も踏まえ、今後、検討会で検討を進めてまいります。</p> <p>本基本方針は、東京戦略2050を踏まえた方針であるとともに、「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン2021」等や「日本橋川沿い地区街並み景観ガイドライン」等と同等に位置する計画となります。進行中の再開発等を考慮しながら、学識委員の意見等も踏まえ、まちづくりを官民連携のもと進めてまいります。</p>  |
| <p>常盤橋街区周辺の記載が抜けています。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>その他、記載計画が出来上がるのが楽しみ 1件</p>  | <p>日本橋川を中心とした新たな水の都の創造に官民連携して取り組んでまいります。</p>  |

将来像【6件】※同様の意見として他箇所での回答含む

|  |  |
|--|--|
| <p>日本橋川周辺のまちづくりの将来像<br/>まちづくりの将来像のキーワードとして、「江戸東京文化」を掲げていただいております。</p> <p>背景としては、「江戸」だけでなく、近代を含む歴史の重層性を踏まえた「江戸東京文化」というワードだと思料致します。一方、特に「江戸」というワードに強くフォーカスがあたっているようにも感じられます。</p> <p>P.8の歴史資源のプロットを見ると、日本橋川沿川は、江戸以前よりも、明治以降の方が現存しているものが多く、「江戸」と同じ、あるいはそれ以上に「近代」の文化が大変重要だと考えます。</p> <p>「近代」を含む歴史の重層性が伝わりやすいキーワードを選択いただくことは考えられないでしょうか。</p> | <p>江戸東京文化には、江戸・近代期から現在へと、発展し続ける首都「東京」を作り上げた、日本橋川周辺の文化を表現しており、近代についても考慮し作成しております。</p>         |
| <p>日本橋における江戸東京文化の記述自体はその通りだと思うが、江戸東京全般に共通する普遍的な記述に見受けられる。</p> <p>また、ワンセンテンスキーフレーズでまとめた方が日本橋川周辺の江戸東京文化の普遍的価値がより明確化する。</p> <p>ここでは、日本橋川周辺における江戸東京文化の普遍的価値についての記述であるので、P25に記述される「「日本橋」歴史と未来に出会える、日本橋川 ～日本橋川を中心とした新たな水の都の創～」を参考に普遍的価値の表現の的確かつワンセンテンスキーフレーズでの表現練り直しをお願いしたい。</p>   | <p>P24,P25は、にぎわいの創造に向けた、まちづくりの将来像を表現しております。</p> <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                 |
| <p>世界遺産登録を目指す取組とは具体的にどのようなものでしょうか<br/>「再生方針」について、同様のご意見 1件</p>   | <p>都では、世界遺産登録も見据え、江戸文化の価値の整理や魅力の発信に向けた有識者会議の開催やプロモーションを展開しており、こうした取組と足並みをそろえていく予定としています。</p> |
| <p>もう少し先行整備地区等の小さな範囲で絵姿や完成イメージが想起できる内容を加えたほうが、より世間に実施イメージが伝わるのではないのでしょうか。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討会で検討してまいります。</p>  |
| <p>フードテック追記いただきたい</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>基本方針のターゲットイヤーは2040年頃との理解でよいのでしょうか。</p>  | <p>P60のロードマップの通り、首都高事業が完了する2040年頃となります。</p>  |

再生方針【71件】※同様の意見として他箇所での回答含む

|  |   |
|--|---|
| <p>日本橋の文化継承に関して<br/>神田祭や大相撲の触太鼓など、暖簾の前でのやり取りが人と人を繋ぎ、守っていると思いますが、最近の日本橋は本当に必要だからなのか、何か外国への違う不動産の理由で高層ビルを建てているのだろうかと不安になります。</p>   | <p>ご意見も参考に、江戸からの歴史資源・文化をいかしたまちづくりに官民連携して取り組んでまいります。</p> |
| <p>日本文化や神社仏閣は何千年と残り、残したいと人は思いますが、ビルを残したいとは思わないのではないのでしょうか。</p> <p>日本橋川周辺のにぎわいのために、新たなビルは不要と思えますし、創るなら本当に未来的な視点からの、文化や自然環境を壊すことのない建造物ではないのでしょうか。</p>  | <p>ご意見も参考に、江戸からの歴史資源・文化をいかしたまちづくりに官民連携して取り組んでまいります。</p> |
| <p>日本橋は、昔から繋がれてきた江戸の粋と技術、お祭り(祀りあう心)人の横の繋がりが、そして宇宙事業の先端の場所。</p> <p>京都(日本文化)ももともと宇宙規模の精神文化です。</p> <p>その無限なくらいの、横の繋がりが日本橋の強さと感じております。だから、日本橋川で人が集いあうのだと思います。</p>  | <p>ご意見も参考に、江戸からの歴史資源・文化をいかしたまちづくりに官民連携して取り組んでまいります。</p> |
| <p>「歴史資源・文化を身近に感じられるようサインや案内版の設置」においては、その場の個別の表記だけではなく、江戸から東京へ至る歴史的な経緯、水辺との関係性、他の場所との関係性、物語性などを含めた、水辺に誘導したり、他の場所に行きたくするような、回遊性を高める工夫が大事かと思っています。これと関連して、QRコード、VRなどの後述の先端技術の活用も関連してくるのではないのでしょうか。</p> | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討会で検討してまいります。</p>               |
| <p>歴史的な景観は、取り壊してなくなってしまうと取り戻すことができないため、保護しつつ、現代的な都市機能を導入するという方針は非常に良いとirikumiと感じました。</p> <p>ぜひ、残した景観を、地元地域が広報に活用したり、観光資源に活用できるような実施方針にしていきたいです。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>                   |



|   |  |
|---|--|
| <p>現在のRC護岸の前面（川側）に、幅60cm程度の空石積みの整備をお願いします・隙間の創出による生態系の呼び込み・船舶航行時の引き波の緩衝（反射波の低減）・見た目の景観向上・石積み技能者の育成、および場の提供</p>  | <p>河川環境の整備に当たっては、河川管理や治水安全性との整合を図りながら、景観に配慮し、検討を進めていきます。</p>   |
| <p>川を身近に感じられる賑わい空間や憩いの空間の整備は非常に重要だと思います。しかしそのような空間や景観を創出する際には、特に夏場の虫対策が不可欠であると考えます。川の周辺では蚊などの虫が発生しやすく、暑い時期には虫の活動も活発になるため、適切な対策を講じなければ人々が近づきにくくなってしまいます。そのことについてもぜひ考えていただきたいです。</p>  | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>   |
| <p>日本橋の空、河川を美しく戻し繋いでいくことは、未来に向けてとても大切と思っております。</p> <p>私は毎月京都へ習い事にいきますが、京都では河川や植物、自然の「水力、地力を戻してあげる」という考えのもと環境を整えています。</p> <p>東京の大手町アマンホテルに創られた「アマンの森」は、山から植栽を植えたと思われませんが、自然の力を感じません。</p> <p>日本橋川と、その周辺一帯に人が集うようになるまでの植栽は「ガーデニング」であるのが、それとも本来の美しい自然というところまで戻して未来へ繋ぐのか気になっております。</p> <p>日本橋川の水力(水がもつ本来の力)に関しても同様に思います。</p>   | <p>ご意見も参考に、日本橋川を中心とした新たな水の都の創造に官民連携して取り組んでまいります。</p>   |
| <p>〈きれいに〉水と緑に親しめる環境の創出</p> <p>本会が参加している団体に“日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会”があります。私もこの会には設立時から関わりをもち会員でもあります。</p> <p>この中では、地元の“名橋日本橋保存会”と協力して、2008年から「日本橋川清掃活動」を毎年、6回/年程度、地元の企業の参加により開催しています（水辺の清掃と生き物等の確認、水質調査等）。都の清掃船も毎回、協力していただき、清掃時の連携と収集ゴミの回収などを行って頂いています。地元の企業だけではなく、町会や地元小学校などの参加もあります。</p> <p>私どもの関連する地元のまちづくりにおいて、清掃活動、水質の浄化への取組、生物観察や環境学習においては、上記の取組や町会、企業、学校などが参加した様々なイベントにおいて実施されてきました。これらの活動や取組を踏まえた記述をお願いできればと思っています。</p> | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>日本橋川は環境局等が計測している基準の範囲では、C類型の河川となっていると思われまます。</p> <p>計測値についても、そのC類の基準の範囲に概ね収まっていると思われまます。</p> <p>加えて、上流の神田川、下流の墨田川も同様にC類だと思います</p> <p>取組のなかで、外濠から導水を検討中とのことですが、その導水元の荒川も秋ヶ瀬取水地地点はB類とC類の境界です。</p> <p>きれいを目指すことは非常に大切だと思うのですが、日本橋川の問題点は、夏場や雨天後の「におい」や「スカム等」と見受けられるので、対策はこうした問題に対して重点的に行うことが必要ではないかと感じました</p>  | <p>水に親しむことができる「においのない、白濁化しない、スカムが発生しない」水質を目指し、官民連携して水質改善を行ってまいります。</p>   |
| <p>ゾーン3の再開発5地区は日本橋一丁中地区の竣工を皮切りに、順次竣工を迎えていきます。2040年代水質目標達成では、まちづくりが進んでも、気持ち良い親水空間になっていない状態が続くと考えます。官民連携とありますが、浚渫・河床整正・高濃度酸素水等民間で実施できるものでは無いため、都・流域行政が一体となって、できるだけ早期に財源確保を行い、対策を進めていただきたい。また、何をどのように、いつまでに進めていくのか、それによりどのような効果が期待できるのかをお示しいただきたい。</p> <p>「ゾーン別の主な取組」について、同様のご意見 1件</p>  | <p>首都高地下化工事や周辺開発等を踏まえながら、引き続き水質改善に向けた具体的な対策について検討を進め、日本橋川が魅力ある水辺空間となることを目指してまいります。</p> <p>具体的な進捗状況や効果については、P60ロードマップに示すとおり、協議会の中で共有していく予定です。</p> |

|   |  |
|---|--|
| <p>交通結節点の整備は大変に大事と思っています。その際に、前述した、大阪の八軒屋の事例のような空間構成が出来ると理想的であると思っています。また、「新たな舟運航路を形成する」ということでは、船着場の運営形態と他の船着場との連携に課題があるように思います。日本橋船着場では、地元の日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会と名橋日本橋保存会が主体となり、委員会を設立し、区の協力を得て運営しています。本会もこれに参加し、船着場を利用しているということになります。日本橋船着場ができる前は、区の協力により常盤橋防災船着場を利用していました。防災船着場は数多くあるのですが、基本は災害時のためにあり、これらの舟運ネットワークを形成するような活用は想定されていません。柔軟な船着場の運営において、誰もが参加出来て、他の船着場との連携も容易に出来るような、開かれたプラットフォームの検討も必要ではないかと思っています。</p>                    | <p>ご意見は、関係部署や各防災船着場の管理者とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>            |
| <p>〈つなぐ〉水辺をつなぐ歩行者と舟運ネットワークを形成<br/>本会は、2010年の設立から、江戸から東京に至る「江戸東京文化」を学び伝えるガイドを養成し、5～6回/年、日本橋船着場から、このガイドによる「江戸東京文化」や水辺からのまちづくり、防災等をテーマとする特色あるクルーズを開催しています。街歩きと連携した舟運クルーズなども実施したこともあります。<br/>街歩きや舟運との連携では、水辺に連絡する高低差がネックとなっていると思います。特に、高齢者や交通移動の弱者に配慮した移動の工夫が必要であるとともに、水門の整備に合わせて、大阪の八軒屋のように地下鉄の駅から直接、高低差がほとんど無いかたちで船着場にアプローチできるようになれば良いなあと考えています。</p>  | <p>ご意見も参考に、鉄道駅や周辺地域と水辺をつなぐウォークブルなまちづくりに官民連携して取り組んでまいります。</p> |
| <p>隅田川で船を終わらせるのではなく、高輪ゲートウェイ（もしくは品川）まで船を伸ばして欲しいです。<br/>新芝運河や高浜運河まで船を伸ばしてもらって芝浦中央公園で乗り降りとかできないのでしょうか。</p>  | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>                       |
| <p>そして船が通れるすべての河川（水路）をポートレースか水泳のルールみたいにところどころを区切って安全運転ができるようにして欲しいです（道路みたいに）。一部景観保持のため、ライト式か別の方法を用いるという風にしてほしい（景観保持区域は東京都が決める）。また、船を扱う人のための自動停止システムなども作って欲しいです（海で水面に浮かぶ人を探すのは難しいとか有名な話だから）。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                                 |
| <p>私は現在、隅田川の近くに住んでおり、隅田川テラスをよく散歩しますが、「ここに自転車専用レーンがあれば、蔵前から浅草を越えて、南千住あたりへも川沿いを気持ちよくサイクリングできるのに」と日々感じます。<br/>浅草に自転車で買い物に行く際も、「隅田川テラスに自転車専用レーンがあったら、交通量が多く危険でゴミゴミした道を通ることなく隅田川の風に吹かれながら快適な気分で浅草まで行けるのに」と残念に思います。<br/>日本橋川は隅田川ともつながる重要な都市の水辺ですので、日本橋川周辺の歩行者ネットワークを検討する際にも、歩行者と自転車が共存できる空間設計を是非とも盛り込んでいただきたく思います。<br/>日本橋川周辺が国内外から多様な人々が集う“にぎわいの軸”となるためには、安全性を考慮した上での自転車の積極的な利用を視野に入れ、より持続可能で快適な都市空間の実現を目指していただきたいです。どうぞご検討のほどよろしくお願い申し上げます。</p> | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                                 |
| <p>船通勤の料金をもう少し考えてもらいたいし、観光プランもいろいろ考えて試して欲しいです。<br/>採算をうまく取りながらいろいろやってもらえると嬉しいです。<br/>遊覧船もうまくスケジュールに入れながら運行通路や東京は防災船着場も多いし、船着場のない内海でも自由に移動できるといいのになと思っています。60キロメートルに及ぶ運河の隅々を船に動いて欲しいです。そのためにも個人事業主を取り入れて陸より早く移動できる水路という利点をうまく生かした個人運送や、個人タクシーがあるといいのになと思っています。<br/>また、葛西臨海公園にも船で移動できるといいのになと思っています。（バスは毎回混んでうんざりする）江戸川にも船を通してもらえると嬉しいです。</p>   | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>                       |

|  |  |
|--|--|
| <p>35ページも良かったです。実際に歩かないとイメージがつきにくくはありますが、これだけ多くのものが川沿いにあるのならうまく行かせると思います。また、江戸東京博物館も水辺の近くのですね。せっかくならこちらもうまく行かせるといいですね。近くに東京水辺ライン？があるようなので、無理にやる必要はないのかもかもしれませんが・・・。</p>  | <p>水を感じながら川沿いを歩ける連続的な歩行者空間の整備に官民連携して取り組んでまいります。</p>  |
| <p>この構想では、高度成長期に東京オリンピックのため景観を後回しにして高速道路が建設された歴史をきちんと踏まえ、川沿いに歩道を整備し、東京の川の文化を活かした賑わい創出を目指している点には非常に共感し、実現した際の期待が膨らみました。</p> <p>江戸以来の歴史や文化を再発見し、川沿いに人が集う都市空間を目指す方向性は、時代の要請にかなったものだと感じます。</p> <p>一方で、計画案全体を通して自転車利用者への配慮が不足しているように思われました。自転車は環境にやさしく、徒歩より広範囲へのアクセスが可能な現代の重要な交通手段の一つです。海外の自転車先進都市では、たとえばオランダ・アムステルダムのアムステル川沿い、ドイツ・ベルリンのシュプレー川沿い、フランス・パリのセーヌ川沿いなど、川沿いのプロムナードや公共空間に自転車専用レーンが整備され、市民や観光客の移動や回遊性向上に大きく貢献しています。</p>   | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>   |
| <p>歩行者や自転車利用者のためのインフラ整備が計画に含まれている点は非常に良いと思います。</p> <p>特に自転車利用においては、移動動線が途切れないような対策を検討願います</p>  | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>   |
| <p>道路空間の再編（リメイク）は誰が行うのか、実施主体とその後の維持管理は費用負担含めて誰が担うのでしょうか。</p> <p>「ゾーン別の主な取組」について同様の意見 1件</p>  | <p>実施主体やその後の維持管理は、施工場所や内容によって異なるものと考えています。</p>   |
| <p>水門等の整備により防潮堤が必要なくなることになり、これが取り除かれれば、様々な歴史的な遺構が見いだされる可能性もあります。このような新しい発見には、心がとときめくような感情もあり、実現されれば多くの人々を引きつける資源となるのではないかと期待もしています。</p>  | <p>令和7年3月に策定した「河川における高潮対策整備方針」において、日本橋川では気候変動を考慮した高潮に対応するため、新たな水門を整備することとしています。</p> <p>将来、水門を整備した場合に必要な日本橋川の堤防高さは、計画規模の洪水を安全に流下させ、また、高潮時に水門を閉鎖した際の降雨による溢水を防止すること等を踏まえ、引き続き検討してまいります。</p> |
| <p>〈集う〉川を軸として人々が集いたくなる空間と景観を創出</p> <p>本会が主催するクルーズでは、水辺に集う人々や橋などを行き交う歩行者などから、多くの人々が手を振り、子どもや乗船客もこれに応じて、手を振り返すという情景が、繰り返し生み出されます。やはり、そうした情景は、水辺の空間と景観の形成とこれを使う人々がいて成り立つ情景だと感じています。また、川沿いのそれぞれの地域には歴史や文化の集積（江戸城の外濠、近代の復興橋梁、明治の鉄道橋等）があり、これを活かした空間や景観づくりも大切です（空間と時間軸）。</p> <p>水辺の空間にも交通結節点における移動と滞留、橋詰め広場や川沿い公園などの憩いと楽しみの空間、川沿いの建物（商業や業務、居住等）など、それぞれ使い方の異なる空間があり、これらから水辺へのアプローチも異なります。「集いたくなる空間」にするためには、これらに配慮した空間整備、空間の形成への誘導など、細かな配慮や方策が必要であるとともに、これらをつくる側、使う側、運営する側などのマネジメントも必要かと思っています。</p> | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>私は、実家が北陸にあり石川県金沢市に出掛ける時、中心部の片町スクランブルで必ず傘が折れてしまう都市風のような現象に遭遇してしまいます。</p> <p>日本橋は、周辺にさらにビルが建設されており空と水辺を戻すために、現在の多くの店舗も移動や変化を余儀なくされますが、基本方針には「風水害対策」という言葉はございましたが、台風以外の風の通り道については視野にはいっておりますでしょうか。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>防災棧橋機能への言及が不足気味だと感じました。</p> <p>首都直下地震など、有事に機能することを担保するのが目的の一つにあるように思います。</p> <p>365日のうち、364日を楽しく過ごし、危機管理時に命のネットワークであることに期待します。地震直後の陸路は啓開から始まりますので、川の道は貴重なインフラだと認識します。</p>   | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>   |



|  |   |
|--|---|
| <p>川の護岸工事もよろしくお願ひします。また、高潮時のための対策もしっかり考えてから施工に取り掛かって欲しいです。</p>   | <p>日本橋川の整備にあたっては、「神田川流域河川整備計画（令和5年3月）」に基づき、洪水対策や高潮対策等について引き続き整備を進めてまいります。</p>   |
| <p>実は福岡には水上公園という見晴らしがよく、ビルと中洲を一望できる場所があります。秋は風が涼しくて夕方になると楽しかったので、水上版MIYASHITA PARKのような公園と商業施設の融合施設が欲しいです。<br/>ただ、福岡の水上公園のような見晴らしの良さを風を感じられる場所を主軸（テーマにおいて）に1箇所公園を作ってもらえないかなと思いました。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>首都高の修景やライトアップ等により、日本橋川の個性ある夜間景観や高架橋をいかした都市ならではのダイナミックな景観をつくる。<br/>首都高の修景やライトアップ実現のため、屋外広告条例等の規制緩和についても検討いただきたい。</p>   | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>  |
| <p>川に顔を向けた建築物の誘導により水辺空間ににぎわいのある景観をつくる。<br/>川に顔を向けることについては、既存の建築物に対して行われてきたこれまでの指導とのバランスや建築物のサービス動線の確保等の課題もあるため、新築される建築物の建築主等がインセンティブを感じられるような運用をお願いしたい。</p>  | <p>にぎわいのある景観については、学識委員の意見も踏まえ、検討してまいります。</p>  |
| <p>川を近くに感じられるにぎわい空間・憩いの空間の整備<br/>整備メニューとして、「親水護岸」「親水デッキ」「張出テラス」の3つを提示いただいています。<br/>このうち、「親水護岸」は、非常に大規模な再開発でないと実現できないため、今後、日本橋川沿川で広くにぎわい空間・憩い空間を整備していくには「親水デッキ」や「張出テラス」の取組みが広く普及することが重要になると思われます。<br/>また、これらの取組みを広く普及させるためには、民間事業者インセンティブを与えるような仕組みづくりも有効であると思料致します。<br/>特に、都市開発諸制度等を適用しない個別更新において、容積評価に限らないインセンティブの在り方についてもぜひご検討をお願い致します。<br/>民間事業者が「親水デッキ」「張出テラス」を整備するにあたって、取り組みやすい整備メニューとなるよう、引き続きご検討をお願い致します。</p> | <p>川を近くに感じられるにぎわい空間・憩いの空間の整備については、引き続き、関係者と調整し検討を進めてまいります。</p>  |
| <p>現在の日本橋川は、方針に記載のとおり、せり立っているため、川からの距離が非常に遠く感じます。川に近づけることに非常に期待しております。</p>   | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>   |
| <p>川を中心とした東京の新しい夜間景観のイメージ<br/>誰が主体でコスト負担は誰が行うのでしょうか。屋外広告物条例の規制緩和はあり得るのでしょうか。</p>   | <p>コスト負担等は、施工場所や内容によって異なるものと考えております。ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>道路空間にかかる「周辺の歴史資源と調和した修景整備」とあるが、具体的にはどのようなイメージでしょうか。ゾーン3では川沿いに繋がる区道2272-273-279号線等周辺との調和から石畳等高質化を目指しており、基本方針に具体的に記載いただきたい。</p>   | <p>周辺の歴史資源と調和した修景整備については、学識委員の意見も踏まえ、検討会で検討してまいります。</p>   |
| <p>水辺を眺めるだけでなく、できるだけ川に近い距離を楽しめたり、橋の下を通ったり、川の近くを歩いて楽しい空間になるように検討していただきたい</p>  | <p>様々な高さを連続的に歩ける親水空間について、引き続き検討してまいります。</p>   |
| <p>民地を取り込んで親水護岸を整備する絵が基本形となっていますが、河川区域内になる場合の民地の扱い、整備・維持管理主体、コスト負担は、そもそも河川区域内のみで設えることは出来ないのか等、そのあたりは今後の実施方針の議論の中で整理していくとの理解でよろしいでしょうか</p>  | <p>親水護岸の整備については、引き続き、関係者と調整し検討を進めてまいります。</p>  |
| <p>令和7年3月河川部策定「河川における高潮対策整備方針」では、2080年高潮対策として、日本橋川では水門整備の記載があります。今回の基本方針のターゲットイヤーが2040年頃と考えると、今回の基本方針のターゲットイヤーが2040年頃と考えると、2080年を前提に記載するのは時間軸が大きく違う気がしますが、どうでしょうか。また、水門整備による舟運への影響や閉鎖水域になることでの水質や生態系への影響はどのようにお考えでしょうか。<br/>「再生方針」について、同様のご意見 1件<br/>「ゾーン別の主な取組」について、同様のご意見 1件</p>   | <p>令和7年3月に策定した「河川における高潮対策整備方針」において、日本橋川では将来の気候変動による海面上昇等を踏まえた高潮対策として、水門を整備し、まちと一体的な治水対策を実施することとしています。<br/>日本橋川のにぎわい創出に向けては、治水計画と整合を図りながら、検討を進めていきます。<br/>舟運への影響や水質、生態系への影響も引き続き検討してまいります。</p> |
| <p>個をいかすとは、具体的にどのようなイメージでしょうか。</p>   | <p>各ゾーンや、各々の橋詰によって異なる特色をいかすイメージとなります。</p>   |

|  |   |
|--|---|
| <p>護岸の手すり形状が横桟になっていますが、日本橋一丁目中地区の河川部協議では、子供の足掛かりになるので横桟は×との見解があり、縦桟で計画をしています。この図のイメージはよろしいのでしょうか。</p>  | <p>掲載しているイメージは技術的な検証等を行う前のものであり、実際とは異なる場合がございます。ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ検討してまいります。</p> |
| <p>賑わい創出のために、屋外広告の規制の在り方の見直し検討も必要ではないでしょうか（デザインコントロールされたアート性のある屋外広告や、情報が集まるNYタイムズスクエアを参考にするなど）。高架橋だけでなく、護岸の壁面についてもデジタル技術を駆使したアートやエンターテイメントによる有効活用イメージがあっても良いのではないのでしょうか。</p>   | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>   |
| <p>護岸のデザインの統一・美装化によるアート画等の取入れによる、にぎわい創出を検討したほうが良いのではないのでしょうか。また、首都高について、残る橋脚等を美装化して、街と一体感を図ることや江戸橋上の首都高に展望台を設置して、首都高が撤去された日本橋川を真ん中かつ上から一望できるにぎわいゾーンを作ることが望ましいと考えます。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>シカゴリバーウォークのように、一体的なファニチャーだけでなく、場所ごとに特徴的なファニチャーを導入したり、ゾーンごとの特色などを出して表情を変えるなど、滞留を促したり、行ってみたくなるような親水空間を検討していただきたい。</p>   | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討会で検討してまいります。</p>   |
| <p>〈うみだす〉官民連携により新しいコトを創出<br/>         本会はNPO法人なので、前述の〈きれいに〉、〈つなぐ〉、〈集う〉を通して、この〈うみだす〉というテーマについて、いくつか意見を述べさせていただきました。最後の方に「新しいビジネスの創出」とありますが、次の点に留意頂ければと思っています。<br/>         ここまで記述したように、私どもも含めた地域においては、本会は15年、日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会は25年、名橋日本橋保存会は57年の積み重ねてきた活動の実績があります。ここで提案されているいくつかの案件は、既にこれらの会の活動の中で、個別に実施されたものや継続的に活動されているものもあります。官民連携の中に、これらの地元活動にご理解をいただき、この活動を継続的に支えていけるような視点や仕組み、制度の提案なども検討して頂けるとありがたいです。</p>                   | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>   |
| <p>河川を個人・企業に解放して欲しいです。東京都港湾局は大変になるだろうけど、水上タクシーや水上で物を運搬する小型貨物船（アマゾンとか）もビジネスモデルとしてみたいですね。水辺近くの地価相場が高騰しそうですが、ぜひお願いしたいです。まあ、船を使って海の上を逃げられる（領海外）と困るので警察の配備やその対策に何かしないといけなくなるかもしれないけど、みたいですねと思いました。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>官民連携による取り組みの「プレイヤー」として茅場町や新川にいて地元の方々を巻き込んで活動を続けている<br/>         亀島川にぎわい創出協議会はお役に立てる機会はあると考えています。<br/>         自分たちの活動方針は今回の「取組方針」と重なるところも多く、一緒に取り組んでゆくことを希望します。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>32ページもとても良かったです。<br/>         子供に残せる緑と環境を大事にして欲しいです。<br/>         そのためには都市条例や地域の人々の動きも大切ですが、みんなが協力し合えるならいい環境を残し続けられます。ただ、勝手に泳ぐ人が出ないように注意する必要がありますし、緑の手入れは欠かせませんが、予算をどこから捻り出すかが肝かもしれませんね。協力したくなる都市作りが大切です。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>47・48ページはしっかり採算がとれる（悪くいえば稼げる）ことを主軸にしつつ東京と水路・川を生かしたものを行って欲しいです。<br/>         実証実験・ビジネスの創出・官民連携組織についてはしっかり益になるようにしっかり計画を練ってやって欲しいなと思います。<br/>         イベントはもちろん、アートやエンターテイメント、アクティビティなど船着場・川沿いが賑わいを見せる東京になって欲しいですね。なお、ゴミを落とされないようにゴミ箱設備（船に設置する？）と整備も必要な気がしますが、そこについても考えてみて欲しいです。景観維持にお金がかからないよう、人の動きを予測した対策も欲しいです。<br/>         最終的に、船で物を売る人が出てきたらすごい（すごく面白くなる）気がしますが、まずは個人・企業のビジネス参入も河川の整備後許可して欲しいです。<br/>         よろしくお願いします。</p> | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |



|   |  |
|---|--|
| <p>水辺の公共空間と民地の一体的なにぎわいづくりに取り組むとともに、にぎわいづくりの担い手となる官民連携組織の立上げなど、持続可能なにぎわいづくりを可能とする仕組みについて継続的に検討する。民間事業者が持続的ににぎわいづくりに参加できるよう、規制緩和や税制優遇についても検討いただきたい。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                     |
| <p>既存のエリアマネジメント組織や町会・地元団体と新たな官民連携組織の役割分担・構成員・活動原資等そのあたりは今後の実施方針の議論の中で整理していくとの理解でよろしいでしょうか。<br/>「再生方針」について、同様のご意見 1件<br/>「ゾーン別の主な取組」について、同様のご意見 1件<br/>「全般」について、同様のご意見 1件</p>  | <p>官民連携の仕組みづくりについては、今後、学識委員の意見も踏まえ検討してまいります。</p> |
| <p>橋詰広場の利活用を中心に、にぎわいを生み出す、人々が集う拠点を整備する。実施主体および維持管理は誰が担うのでしょうか</p>   | <p>実施主体やその後の維持管理は、施工場所や内容によって異なるものと考えています。</p>   |
| <p>考え方・内容に異論はないが、「江戸東京文化」の公的定義が「人の資源の集積をいかし・・・取り組む」の様に読めてしまうので、表現の仕方の工夫をお願いします。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                     |
| <p>東京都庁は2017年にTokyo Old Meets Newという公式ブランドステートメントを定義していますので、江戸東京文化の世界遺産化の戦略についてはTokyo Old Meets Newのブランドステートメントを活用するほうが望ましいと考える。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                     |
| <p>国内や海外においてリバーサイドの再生家屋等を利活用した親水地区の構築の成功事例等があるので、日本橋地区・日本橋川と類似又は共通点のある都市及び地区をピックアップして成功事例を参考にしつつ、より詳細なプランをご検討ください。彼我比較として米国シカゴ、沖縄石垣市を明記しているが、日本橋地区・日本橋川との彼我比較のための類似性の根拠が不明確です。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>            |
| <p>「日本の天然資源は文化」と仰られた方がいらっしゃいますが、私もそのように思っております。<br/>イメージネーションや思いやり、江戸の粋、技術や宇宙規模の感性が人を通して繋がらう、それはとても日本橋の力強い姿と思っております。<br/>本当に、大切なものを大切に繋ぐための都市開発がなされますようどうぞよろしくお願いいたします。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                     |
| <p>東京は首都直下地震もあるかもしれないし、出来るだけ早く出来上がってもらいたいなと思います。<br/>2032年には全部終わってほしいくらいです。この2032年の東京は嫌な予感がします。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                     |
| <p>28・29ページもとても面白かったです。既存の石積を生かしながらより豊かな東京らしさ・水辺を演出して欲しいです。<br/>そういえば東京丸の内ホテルのタイルがバリバリに割れていて、雨上がりに水が溜まっていた（近くの道路）のが気になっているのですが、あれは誰も直さないのですか？<br/>東京駅周辺は川が近く、皇居もあるので川を活かした施工がうまくいくといいなと思います。<br/>大手町川端緑道の棧橋広場はポテンシャルがありそうなのに、人気がない場所になっているのが悲しいです。大手町川端緑道親水公園など川沿いの広場はできるだけ生かす方向でお願いしたいです。もちろん、連れ去りなどあってはならないので、防犯カメラといった対策も必要だと思います（念のため）。</p> | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                     |
| <p>株式会社東京湾クルージング日本橋・朝潮の定期船も復活してほしいなと思っています。よろしくお願いいたします。</p>  | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>           |

|  |   |
|--|---|
| <p>本方針においては、オフィスや商業施設の誘致による地域活性化が重視されていることと存じますが、併せて地域住民の生活環境の充実を図る施策も不可欠であると考えます。特に、中央区内陸部では、区"営"住宅や"年金で入れる"老人ホームなどの生活支援施設が不足しているのが現状です。これらの施設は、現在、主に勝どきなどの湾岸エリアに集中しており、そのため、日本橋川周辺に居住する高齢者世帯や低所得世帯の生活利便性が十分に確保されていません。</p> <p>例えば、単身者向け区営住宅に関して他区と比較すると、大きな違いがみられます。（比較対象として新宿区を挙げるのは、各区HP閲覧時に「単身世帯」と「高齢単身世帯」の場所・戸数が明示的だったからです。）</p> <p>中央区 単身世帯：1カ所（勝どきのみ）・22戸、高齢単身世帯：3カ所・77戸<br/> 新宿区 単身世帯：2カ所・127戸、高齢者単身世帯：23カ所・222戸</p> <p>また、東京都HP掲載の高齢者向け施設一覧によれば、次のとおりとなっています。</p> <p>有料老人ホーム：日本橋川周辺に1カ所のみで一千万円超の入居一時金が必要<br/> 軽費老人ホーム・養護老人ホーム：日本橋川周辺には存在しない</p> <p>以上より、日本橋川周辺のにぎわい創出に向けた計画においても、オフィスワーカーだけでなく、地域住民のための住まいと生活支援施設を整備することが重要だと考えます。安価な区営住宅や老人ホームなどを、単一地域に限らず、区内各所に分散配置することで、地域内での支え合いが強化され、バランスを保った発展が一層進むことでしょう。</p> <p>今後の日本橋川周辺の開発が、地域の多様なニーズに応える形で進むことを願っております。</p> | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>                                      |
| <p>地下歩行者ネットワークの形成と水辺との回遊性の向上」を追記いただきたい。<br/> 「再生方針」について、同様のご意見 1件<br/> 「ゾーン別の主な取組」について、同様のご意見 1件</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>図上の交通結節拠点の表記が分かりにくい。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>必ずしも親水空間がつくれるとは限らない場所もあるため、「開発等が生じた場合には」と追記いただきたい。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>川沿いにゆとりある配置との記載があるが、感覚的な話になっています。P36は日本橋川全体にかかる記載だとして、P56ゾーン3のところにも同様の記載があります。ゾーン3では、東京のしゃれた街並みづくり推進条例第27条第2項の規定に基づき知事承認を得た「日本橋川沿い地区街並み景観ガイドライン」「日本橋室町・日本橋本石町・日本橋本町街並み景観ガイドライン」が既に定められており、「日本橋川沿いに両岸で川幅50 m～60 m以上の新たなオープンスペースや低層空間を創出」と記載しています。齟齬が生じないよう、P36ではゾーン3の街並み景観ガイドライン適用範囲は除くとの追記、併せてP56の記載を「日本橋川沿いに両岸で川幅50 m～60 m以上の新たなオープンスペースや低層空間を創出」に変更いただきたい。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>                                       |
| <p>イメージにあるような、鉄道駅からのこのような縦動線はゾーン3の先行する日本橋南側の再開発4地区ではこのような計画はありません。また、将来に向けて新たな再開発が計画された場合にも、施設計画上、記載のイメージが実現できるかどうかは分からない前提で良いとの理解でよろしいでしょうか。</p>  | <p>基本方針では、鉄道駅や周辺地域と水辺をつなぐウォークアブルなまちづくりを目指しており、今後、その実現に官民連携して取り組んでまいります。</p> |
| <p>江戸橋においても、橋詰広場としての整備や日本橋一丁目東地区再開発での整備予定のCDE街区も「人が集う拠点」と考えますので、対象範囲にプロットを追記いただきたい。</p>  | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>ゾーン3では、東京のしゃれた街並みづくり推進条例第27条第2項の規定に基づき知事承認を得た「日本橋川沿い地区街並み景観ガイドライン」「日本橋室町・日本橋本石町・日本橋本町街並み景観ガイドライン」が既に定められており、「街並み景観ガイドライン等に則り、周囲を含めて～景観を形成していく」と追記をお願いしたい。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| <p>その他、水の都に期待 1件<br/> 今後が楽しみ 2件</p>  | <p>日本橋川を中心とした新たな水の都の創造に官民連携して取り組んでまいります。</p>                                |
| <p><b>ゾーン別の主な取組について【25件】※同様の意見として他箇所での回答含む</b></p>   |   |
| <p>川の護岸の緑化（ツタを這わせる等）についても、つなぐ緑の要素として追記いただきたい。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>                                       |
| <p>「時間帯で利用（活用）形態を変更することなどにより、川へのアクセス性を向上させ、ウォークアブルなまちをつくる。」を追記いただきたい。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>                                       |

|  |  |
|--|--|
| <p>世界的観光都市を目指すのであれば、「オーセンティックな観光ストーリー」が必要としてこのエリアにはそれを可能にする歴史的ストーリーと、遺産がある。</p> <p>【江戸の昔お城に将軍がいた頃、日本橋は商人・魚売り、人形町は歌舞伎小屋で賑わいを見せた。そのエリアで生まれ、盗みを繰り返した鼠小僧治郎吉は、八重洲の北町奉行所でお裁きを受け、伝馬町の牢屋敷に捕らえられた】</p> <p>木橋日本橋、石町時の鐘・鐘楼堂、伝馬町牢屋敷、元吉原・大門を復活させ、「将軍」「お姫様」「花魁」「牢名主」などを登場させ、世界の人々を魅了する。</p> <p>さすれば現在、世界一の「オーセンティックな観光ストーリー」を持つ、フランス・パリに対抗出来る、江戸東京の観光都市が誕生する。</p>                        | <p>ご意見も参考に、江戸からの歴史資源・文化をいかしたまちづくりに、官民連携してを取り組んでまいります。</p>  |
| <p>整備される橋詰広場、店舗、公園、船着き場等の親水空間相間の相互連携など、横のつながりや来街者を増やすための「情報発信」についても留意してまちづくりを行うべきと考えます。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>  |
| <p>時間制限付き歩行者専用道路化 「時間帯で利用（活用）形態を変更することなどにより、川沿いの街歩きを楽しめるよう、ウォークアブルな歩行者空間をつくる」を追記いただきたい。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>  |
| <p>断面図での親水デッキや張出テラスの表現が無く、文章との整合が取れていない</p>  | <p>断面図は、親水空間の整備例となります。</p>   |
| <p>当該ページが「日本橋・人形町等」となっているものの、ほぼすべて日本橋のことで、人形町の特徴を踏まえた内容になっていないように感じます。</p>   | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>  |
| <p>アートやエンターテインメントは必ずしも「デジタル技術を駆使」したもので賑わいを創出する必要はないのではないのでしょうか。アートやエンターテインメントは、従来のものとデジタル技術を駆使したものとの組み合わせにより、より魅力的な賑わいを創出できると考えます。</p>   | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>  |
| <p>橋詰広場については、歩行者NWの重要な起点になるため、整備に向けた整理を記載をした方がよいと思います。例：日本橋を中心に道路、橋詰広場、デッキ及び建物低層部について、歴史と文化を踏まえ、統一されたしつらえを整備するためのルールづくり。特に、歩行者NWの重要な起点となる橋詰広場については、整備方針の整理。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討会で検討してまいります。</p>  |
| <p>先行する再開発5地区の中には、引き続き、東京都景観審議会計画部会での説明が続いており、今回のルールづくりが周辺再開発事業の外観等に与える影響について教えていただきたい（特に検討会と東京都景観審議会計画部会の関連性・位置づけについて教えていただきたい）。</p>  | <p>本基本方針は、「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン2021」等や「日本橋川沿い地区街並み景観ガイドライン」等と同等に位置する上位計画となります。進行中の再開発等を考慮しながら、学識委員の意見等も踏まえ、まちづくりを官民連携のもと進めてまいります。</p> |
| <p>川沿いにゆとりある配置との記載があるが、感覚的な話になっています。ゾーン3では、東京のしゃれた街並みづくり推進条例第27条第2項の規定に基づき知事承認を得た「日本橋川沿い地区街並み景観ガイドライン」「日本橋室町・日本橋本石町・日本橋本町街並み景観ガイドライン」が既に定められており、「日本橋川沿いに両岸で川幅50 m～60 m以上の新たなオープンスペースや低層空間を創出」との記載。齟齬が生じないように、P36ではゾーン3の街並み景観ガイドライン適用範囲は除くとの追記、併せてP56の記載を「日本橋川沿いに両岸で川幅50 m～60 m以上の新たなオープンスペースや低層空間を創出」に変更いただきたい。また、必ずしも歩行者空間がつけられるとは限らない場所もあるため、「開発等が生じた場合には」と追記いただきたい。</p> | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>  |
| <p>先行整備区間となっている、再開発のエリア外である江戸橋～茅場橋は誰が何を行うのでしょうか。日本橋一丁目東地区再開発としては、再開発エリアのみの対象と考えており、今回の基本方針（案）にかかる対応（再開発以外）は、中央区が行うとの理解で宜しいでしょうか。</p>   | <p>具体的な整備主体者の調整は今後行っています。</p>  |
| <p>2025年4月1日付で「一般社団法人日本橋リバーウォークエリアマネジメント」が設立されており、ゾーン2同様、「エリマネ団体等によるぎわい創出」を追記いただきたい。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>   |
| <p>中央区亀島川では高潮対策が成された護岸修景が実現されています。日本橋川の先行モデルとして、「取組方針」で示された内容を実証実験的に実施してはいかがでしょうか？その際には、自分たち亀島川にぎわい創出協議会が全面的にお手伝いいたします。</p>  | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>  |



|  |   |
|--|---|
| <p>先行整備区間における取組のイメージ<br/>「水辺の歩行者中心のネットワーク」として、一ツ橋から鎧橋までの区間を図示していただいています。</p> <p>大規模再開発が予定されている日本橋周辺エリアは、再開発と連携した官民連携の取組により水辺空間の整備を進めやすいと思われます。</p> <p>一方、その周辺エリアでは、個別の民間事業者の取組では限界があり、水辺のネットワークの形成が進みにくいことが懸念されます。</p> <p>行政の積極的な水辺空間の整備が先導し、沿川の個別の民間事業者がそれに合わせて環境整備を積み重ねることで、面的で多彩かつ魅力的な水辺空間が生まれるものと思料致します。ぜひとも、今後、行政による先導的な取組をお願い致します。</p> | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考にさせていただきます。</p>                |
| <p>「大手町・神田周辺」及び「日本橋周辺」から成る先行整備区間における取組のイメージでは、日本橋川を中心に回遊性を高める地上・地下の歩行者ネットワークの形成に、先行的に取り組む。</p>   | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>                 |
| <p>水辺の歩行者空間の範囲が合っていません。</p>  | <p>P58図は修正いたします。</p>                                  |
| <p><b>ロードマップについて【3件】</b></p>   |   |
| <p>ロードマップ（今後の進め方）<br/>首都高速道路の地下化工事は、2035年度（令和17年度）地下化完了予定、2040年度（令和22年度）高架橋撤去完了予定となっております。</p> <p>高架橋撤去が完了する予定の令和22(2040)年度まで、工事が連続的かつ長期的に進行していくことから、工事期間中における賑わい創出の在り方や回路の高架橋を活用した修景の取り組みなど、まちのにぎわいを創出する取り組みも積極的にご検討をお願い致します。</p>   | <p>ご意見も参考に、学識委員の意見を踏まえ、検討してまいります。</p>                 |
| <p>N1・2、N1東、M1の3街区の高層棟という理解でよいでしょうか?2029年度Y1北が抜けています</p>   | <p>ロードマップに「2029年度（令和11年度）八重洲一丁目北地区南街区完了予定」と追記します。</p> |
| <p>協議会はどのようなイメージでしょうか。また官民連携組織との関係はどうなりますでしょうか？</p>  | <p>協議会については、今後、検討してまいります。</p>                         |
| <p><b>全般について【11件】 ※同様の意見として他箇所での回答含む</b></p>   |   |
| <p>夢の島公園や海の森公園を用いた東京のゴミ処理問題（大きく言えばゴミ処理から環境問題について触れられるような）などについて触れられるツアー（船で行く）もみてみたいです。</p> <p>東京の沿岸部は飛び地（もしくは離小島？）が多いので、そこを船で自由に行き来できるようになるといいのになと思いました。</p>   | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>                |
| <p>大変すばらしい基本方針で、実施に向けた都主導の取組みに期待を寄せています。具体的施策が進むよう、地元や河川管理者への啓発と前向きなアクションを希望します。</p>   | <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>                          |
| <p>それから、都営新宿線と都営浅草線、JR線の繋がる馬喰町駅（東日本橋駅・馬喰横山駅）なのに、作られた地下空間がうまく活かされていなくて悲しいです。歩道ではあるのですが、お店を入れたり、座れるスペース作りという風に改修していただけると嬉しいです。</p>   | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>                |
| <p>それから、日本橋駅から、都営地下鉄浅草線の東日本橋駅・JR総武快速線の馬喰町駅も地下で繋げていただけると嬉しいです。</p> <p>長い地下道（お店の立ち並ぶ）で日本橋方向まで行き来できるといいのになと思いました。</p>   | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>                |
| <p>それから、臨海地下鉄線は船の発着がしやすいところも多そうなので、船も使って移動できたりするともっといいのではないかと考えています。晴海・東京ビックサイトらへんに新しい船着場を作って欲しいです。</p> <p>また、東京ビックサイト付近は商業施設が少なく、人寂しい印象が強いので、商業施設などを入れて発展させて欲しいです。一昨年、コミケに始めていくのに青海駅に始めて降り立ちましたが、人の群れと車通りしかなく、若干雰囲気が寂しいなど感じました。商業施設か、海を生かしたレジャー施設などがみてみたいです。よろしくをお願いします。</p>  | <p>ご意見は、関係部署とも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>                |
| <p>その他、<br/>全体的に賛成、今後も都民と専門家の意見を聞いて進めてほしい 1件<br/>臨海地下鉄が楽しみ 2件<br/>学生時代のリサーチした資料を参考に送付する 1件<br/>江戸川区への施設の設置 1件</p>  | <p>日本橋川を中心とした新たな水の都の創造に官民連携して取り組んでまいります。</p>          |